

技術指導申請書 (日本語)

기술지도 신청서 (일본어)

申請番号: KJC-2026-0083

☑ 翻訳者: 관리자 (admin)

📅 完了日: 2026-09-29 17:34:09

企業概要	企業名 (英文)	HAESUNG ENTERPRISE CO., LTD		
	所在地	釜山広域市(プサン・こういきし)江西区(カンソ・グ)		
	業種	☐ 機械 / 重工業 (工作機械、産業機械、建設機械、プラント設備) ☐ 金属 / 素材 (鉄鋼、非鉄金属、合金、新素材[炭素繊維、セラミックス等]) ☐ 電気 / 電子 / IT (半導体、ディスプレイ、電子部品、通信機器、電子機器) ☐ 自動車 / 輸送機器 (完成車、自動車部品、鉄道・航空・船舶部品) ☒ 化学 / 石油化学 (精密化学、高分子・プラスチック、合成樹脂、機能性素材) ☐ エネルギー / 環境 (二次電池[バッテリー]、水素、新エネルギー、環境設備) ☐ 食品 / 生活用品 (加工食品、飲料、消費財生産) ☐ 繊維 / ファッション (一般繊維、機能性繊維、衣料製造) ☐ バイオ / 医療 (医薬品、バイオ素材、医療機器、ヘルスケア) ☐ その他		
	設立年度	1999年	従業員数	49名
	主な生産品	釣り糸、釣り具		
	ホームページ	www.marinmax.co.kr		

技術指導 申請情報	指導希望期間	2027年 1月 ~ 8月 (8ヶ月)
	指導方法	☐ オフライン (訪韓指導) : 日本の技術者を企業の製造現場に招待して指導を受ける形式 ☐ オンライン (遠隔画像指導) : Zoom、Teams、Google Meetなどのビデオ会議プラットフォームを活用して指導を受ける形式 ☒ オン+オフライン並行指導
	指導希望内容	1) PVDF製品の生産技術に関する技術指導

		2)
		3)
	技術指導希望分野	☐ 研究開発（新製品 / 新技術研究、新素材開発、プロトタイプ製作） ☐ 設計（製品設計[CAD/CAE]、回路設計、金型 / 治工具設計） ☒ 生産技術（工程設計、生産ライン構築、生産性向上、自動化推進） ☒ 製造（加工、組立、成形、溶接、組立ライン運営） ☒ 品質（品質検査、不良分析、ISO / KS認証対応、品質改善活動） ☐ 設備 / 保全（生産設備点検、故障対応、予知保全、ロボット / 自動化設備管理） ☐ 生産管理（生産計画立案、資材所要量管理[MRP]、原価 / 納期管理） ☐ 購買 / 資材調達（原材料購買、協力会社管理、サプライチェーン管理） ☐ 物流 / 在庫（原材料入出庫、製品出荷、物流自動化） ☐ 安全 / 環境（労働安全管理、環境規制対応、ESG経営支援） ☐ 市場調査（産業動向、競合分析、新技術トレンド調査） ☐ その他
	悩み技術 製品写真	

申請の きっかけ	技術指導事業申請のきっかけ
当社は、釣り糸およびモノフィラメントを専門とするメーカーで、1999年に設立されて以来、漁業、釣り、レジャー・スポーツなど、さまざまな用途向けの釣り糸を製造・販売しています。現在、従来のナイロン製品に加え、より付加価値の高いPVDF製品の生産に向けて生産ラインを構築し、製造を進めています。 従来のナイロン製品については、当社が高い市場シェア（60%以上）を有していますが、PVDFについては、現在市場への参入段階にあります。 現在のPVDF（釣り糸）市場では、日本のクレハなどのメーカーが60～70%以上のシェアを占めていると認識しています。韓国国内でPVDF製釣り糸を生産しているメーカーは当社が唯一であり、その他は日本製品を輸入し、代理店として販売している状況です。 当社ではPVDF製品の生産を進めています。現時点では製品特性を100%満足できるレベルまで安定的に実現できていません。原料の特性に応じた生産条件の設定や、押出機をはじめとする生産設備の最適な条件設定について、現在の当社の技術力だけでは十分に最適化できていない状況です。そのため、日本の技術者から専門的な技術指導を受けたいです。	

期待効果	日本技術者指導の必要性および期待効果
------	--------------------

韓国国内でも一部の企業が産業用PVDFを生産していると認識していますが、当社のようにPVDF製の釣り糸を専門的に生産している企業はないものと考えています。

現在、PVDFの生産技術においては日本が世界的に高い技術力を有しており、特にPVDF製釣り糸の分野では、日本のクレハが世界トップクラスの技術力を有していると認識しています。

日本の先進的な技術を韓国国内に導入することは容易ではないため、当社では独自にPVDF生産設備を構築し、生産を進めています。しかし、日本製品と同等の品質を100%実現するには至っておらず、日本人技術者による技術指導を通じて、PVDF製品のノウハウを習得したいと考えています。

PVDF製品の生産技術を確立することで、韓国国内で唯一、最高品質のPVDF製釣り糸を生産できる企業へと成長することを目指しています。